

政策提言書

総務産業委員会

都市の魅力向上による定住・移住促進について

総務産業委員会では、本市の魅力を高めることによる定住・移住促進に向け、平成28年10月24日に愛知県常滑市、翌25日に岐阜県各務原市、また、平成29年10月12日に栃木県那須町、翌13日に同県那須塩原市の視察を実施しております。

また、これらの視察内容のうち、特に常滑市のMICE施設の立地計画、那須塩原市の企業立地促進などが本市の参考になるものと考えられますが、当委員会においては、その都度、委員会協議会を開催し、その内容を議論してまいりました。

その結果、直接的な夜間人口の増加施策はもとより、企業立地を促進することによる昼間人口の増加や、観光を振興することによる交流人口の増加について、均衡を図りながら取り組むことが、都市の魅力を高めるとともに、定住・移住促進や地域経済活性化、ひいては都市全体の活性化に繋がっていくものと考えられるため、今回、他市事例を参考にしながら、国際空港直近都市である本市の立地特性を活用した施策展開として、以下の内容を政策提言するものです。

記

1. 定住・移住のさらなる増加を促進するため、国内はもとより、国際的な観光の振興を図ること
2. 訪日外国人にとって、泉佐野市が一つの目的地となるような施設の立地誘導を図ること
3. 雇用を創出し、地域経済の活性化に繋がる企業誘致を積極的に図ること

以上